



オアシス

文責：副学長
桑原雅次

出雲芸術アカデミーだより 2020年2月20日発行 第22号

2月に入りようやく冬将軍の到来となり、当地では見慣れている雪景色となりました。例年になく雪不足が続き、春以降の水不足が心配ですが、世間では「新型コロナウイルス」の蔓延で世界的な危機感が伝えられ、心配しているところです。過剰な反応は必要ないと思いますが、危機的な状況にこそ冷静な行動が求められるものと心得なければなりません…。

◎ ♪うたなかまコンサートと♪2020を有終の美で飾る！

本アカデミー幼児科の皆さんによる発表会を毎年1月に行い、地域や保護者の皆様に1年間の成果をホールで鑑賞していただく機会としています。幼児の皆さんであってもホールのステージに立つことは大変意義深いことだと思います。世界的なアーティストが演奏した同じステージにたてることは、そう易々と出来ることではありません。後に大人になってからホールで演奏した経験が自己満足や喜びとなっていつまでも心に残ることと思われれます。また、このコンサートの特徴は、バックミュージックが本アカデミー講師の皆さんによる生演奏で演出されることです。これもなかなか出来ることではありません。機械的な音源でなく生で演奏される息遣いが心地良く、ステージの一体感が聴衆をより引き付けることにつながるのだと思います。

今年の演目は、音楽劇「子やぎたち と もりのおおかみさん」と「みんなでうたって・おどって・うたなかま」の二部構成でした。音楽劇は、原作のグリム童話「おおかみと7ひきの子やぎ」から台本・構成・作（編）曲を米山学長が手掛け、ステージいっぱい演技する出演者（受講者・保護者・講師）がのびのびと表現する姿が印象的でした。このことは、初の試みとなる演出・振付を“天野恭子”氏が担当されたことも大きな成果といえるでしょう。プログラムの中には、出雲弁を取り入れたユーモアたっぷりの演技に会場から笑いがおきるなど温かい雰囲気コンサートになりました。全体構成も無駄がなく、オープニングからエンディングまで飽きることなく楽しませていただきました。

単独公演で8年間続いた「うたなかまコンサート」ですが、今回をもって最終公演となりました。1月は、風邪の流行期でもあること、また、発表を終えた2月から4月までの講座運営に集中出来なくなるなどの理由から、来年度より各講座の年度末発表会と位置づけしている「ファミリーコンサート」に幼児科も合流する形で行うことになりました。



音楽劇の様子！



学長を中心に出雲弁で…



木管四重奏を囲んで…



うたなかま最後のステージ

【このたよりは、本アカデミーホームページでも掲載します <https://www.izumo-zaidan.jp/academy/>】

幼児科単独公演は無くなりますが、形を変え皆様の前に登場いたしますので、今後ともご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

◎ ♪春まちコンサート2020♪満員の聴衆を魅了！

出雲フィルハーモニー夢いっぱい春まちコンサートが、平田文化館プラタナスホールを会場にこの程開催され、用意した客席が満員になるなど大盛況となりました。本番を平田会場で公演した経験がなく、音響面や来場者数など心配する声もありましたが、何の問題もなく終わることが出来たことは、とても大きな収穫となりました。音響は、ステージ前に張り出しを設置したため、ホール全体に心地良く響きわたり、演奏者も気持ちよく演奏できたのではないのでしょうか…。

春まちコンサートは、アウトリーチ事業(各施設への出前演奏)の集大成として、各奏者がホールに集い、訪問した時より多様な編成でコンサートを開催し、今年で2年目となりました。今年はウエルカムコンサート「Jr.フィルファゴットアンサンブル」に始まり、「木管三重奏」、「ソプラノ、フルートとピアノのアンサンブル」、「金管三重奏」、「弦楽四重奏」、「ソプラノ二重唱」、「テノール独唱」、「打楽器アンサンブル」と続き、最後は奏者全員による「チェンバーオーケストラ」で締めくくり、多彩なプログラムでクラシック音楽の奥深さを堪能されたのではないかと思います。

エンディングには、出雲芸術アカデミーからジュニアコーラスの皆さんも参加され、会場の皆さんと一緒に盛りあげました。また、各曲目や作曲家について、中井芸術監督による解説やエピソードを交えながらの丁寧なお話は、クラシック音楽を理解するうえで来場者からもとても好評でした。

来年度もアウトリーチ事業は継続されますので、各施設の皆さんにはふるって申し込みをされ、春まちコンサート会場へは万障お繰り合わせのうえお越しいただきますようお願いいたします。



ウエルカムコンサートで
Fg アンサンブル



木管三重奏



Sop, Fl, Pf アンサンブル



金管三重奏



弦楽四重奏



ソプラノ二重唱



テノール独唱



打楽器アンサンブル



チェンバーオーケストラ



エンディング1



エンディング2